

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 8 日 (20:00~20:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 前泊・井本・勝連・譜久村・久貝・仲地
吉田・井上・金城・波平・上原・坂東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	7	2	2	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6	8	0	2	16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	7	1	2	16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6	6	4	0	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
相談が入った時に、できること・できないこと・してほしいことを必ず聞いている。ほとんどのスタッフが、相談や利用開始前から地域暮らしのつながりの中で知っている方・知らなくても知ろうとしたらすぐわかるつながりのある方なので関係づくりはできやすく、気にかける挨拶や声掛けが日常的にできる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
今までより独居の人が地域で増えてきており、隣近所に支えられているが最近では支えきれなくなっている。直近の情報をひろうことが出来づらくなり、地域のつながりを関わりの中でつなぐ役割が難しくなっている。職場内の役割によってできていることとできないことが別れ、仕事内での声掛けや全体へのタイムリーな情報共有ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
情報 (困りごと・利用したい意向など) の声をひろう努力を全体で意識していくことが必要、そして、ひろった情報をどのようにプライバシーの保護をしながら伝え地域と初期支援の構築をしていくかが課題。 スタッフ全体での情報共有 (ミーティングとミーティング欠席者への伝達強化)、地域への情報発信 (困りごとの発生と事業所での支援、これまでの関わりを探りつなぐ配慮) をしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 15 日 (20 : 00～20 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 前泊・井本・勝連・譜久村・久貝・仲地
吉田・井上・金城・波平・坂東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	8	3	2	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	7	4	2	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	10	3	2	16
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	8	3	2	16

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
スタッフ各々の役割やこれまでの関わりから本人のニーズを声をかけたり気遣いをして知る努力はできている。気持ちをいい合い伝え合う関わりはできている。毎月末のミーティングで話し合うことはしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
思いを受け止めるだけになってしまうことや、知ったことを伝えず一対一の対応になってしまい全体と情報の更新を共有できていないことがある。「～したい」が本人と家族や他者との関係悪化に繋がることもあるので、折り合いに時間がかかってしまい一歩引いてしまったり、ゴールがわかるのに確認ができていなかったりする。日々の日課に追われ役割によっては、一対一での意思疎通の時間が上手く設けられないことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
日々の役割や受け持ち体制により、できることの差があることが課題。
利用者一人一人にスタッフ一人一人が気をかけて、一対一の関わりを増やす。
汲み取れた「～したい」を私たちが言葉にして確認し、ミーティングで発言し合い、環境と折り合いをつけながら「～したい」実現へ支援し続ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 15 日 (20 : 00～20 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 前泊・井本・勝連・譜久村・久貝・仲地
吉田・井上・金城・波平・坂東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	8	3	8	2	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	9	3	4	0	16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	8	5	1	2	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	11	3	2	0	16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	8	7	1	0	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>殆どのスタッフが子供の頃から育ててもらった共に生きる地域の方々、暮らしも家族も情報がわかりやすく、その人らしさを失わずに今の状況に合わせてお手伝いしたい想いが強い。これまでの暮らしや関わりに合わせ、その都度、現状の気持ちや体調の変化に合わせて、それをスタッフ間・地域間で共有しながら支援している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>即時的な対応は、受け持ちスタッフを設けているのでそれ以外のスタッフは後追いの支援になる。また役割により、わかることと、変化に気づくことが出来ないことがある。利用者との暮らしは身近な分、情報量が多く、自然に今のその人の環境からわかることで以前の暮らしをあえて掘り下げて把握すると固定概念を作ってしまうことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>これまでの日々の生活での関わり・心遣いを活かしながら日常生活を支援している。その中で、最近尿意を訴えられる方が少なくなっており、羞恥心への介入・排泄ケアが課題。食事・入浴時間の介入が固定されているのに合わせつつ、羞恥心については細心の注意をはらい排泄補助具の工夫と排泄の介助時間をそれぞれの利用者ごとに具体化して、よりよい排泄ができるよう改善を図る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 21 日 (20 : 00～20 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 前泊・井本・勝連・譜久村・久貝・仲地
吉田・金城・波平・上原・坂東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	9	4	2	1	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	8	6	2	0	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	9	3	4	0	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	6	6	3	1	16

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

本人のスタイルをあまり変えないように、スタッフも共に暮らし理解を深めている。スタッフの殆どは小さいころからお世話になっている方々が利用者であり、恩返しの想いが強く、家族のように思い、お互いの信頼関係の基で支援している。暮らし方・つながりが変わりなくできるよう、島外の家族や関係者にも電話などを用いて日常的に情報交換をしている。行事を共に大切にして暮らし、日々仕事としても仕事外でも関わっている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

家族との関係性でどこまで介入してよいのかが難しく、特に離れた家族やこれまでの関係性が切れかかっている場合の支援ができていない。その場合の介護者と周りの関係の情報と配慮が課題。本人が関わりの中で何を希望しているのか把握するのに時間がかかる。資源を活用するよりも共に動いてしまうことが多い。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

動けない状態や気持ちが外に向かない状態に、近隣は少しずつ離れて行ったり、本人もみじめさなどを抱えてしまい、重症化になった時の対応・個々人の対応と家族の気持ちへの対応が課題。これまでの生きてきた島人たちの暮らしを尊重しつつ、見守る・声掛けをする。その人の生き方・島の流れを見ながら、送迎時のルートを工夫し姿をみせたり徐々に想いや状態の情報を流したりして繋がりを紡ぐ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 21 日 (20 : 00～20 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 前泊・井本・勝連・譜久村・久貝・仲地
吉田・金城・波平・上原・坂東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	11	2	3	0	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	12	4	0	0	16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	11	3	0	2	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	12	3	1	0	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
島おこしの会の活用 (台風避難受入れなど地域と共に課題解決をしている)。地域の方とは毎日顔を合わせ困ったときには助け合える柔軟さが私たちの売りであり、行事も各家庭や親戚のニーズと向き合いチームで、様々な暮らし方・関係性との折り合いの中で支援している。ニーズや本人の変化に応じたサービスの提供をミーティングや日常会話で常に共有し対応する努力は皆でできている。記録や話し合いの工夫をし、相手の立場に常に立って考える習慣がある。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の希望と家族のわがままと思われる点のズレへの対応が難しい。 自由さが本人の自立支援になっているのか、チームで悩み続けていて難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
変化に対しての柔軟さはあるが、場当たりのになるので、チームで考える機会を常につつまうようにしていく。今まで通り、多機能性・柔軟性を行政にも理解してもらいながら現状の支援を継続していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 21 日 (20 : 00 ~ 20 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 前泊・井本・勝連・譜久村・久貝・仲地
吉田・金城・波平・上原・坂東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	6	3	2	5	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	3	4	6	16
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	8	7	1	0	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	14	2	0	0	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>地域の人たちとの関わりを大事に利用者以外の島民とのコミュニケーション、日常的な関わりで顔が見えるようにしている。地域のイベント・行事に参加、避難訓練や誕生会・運動会をみんなでもっている。島の人には毎日の様に誰かしら来所あり、島外の人にもたくさん気軽に入ってくる。毎日の様に他職種の来所や連絡があり、顔を合わせれば毎日が会議のように情報の共有や話し合いがなされている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域や他事業所との会議・他機関との連携・包括支援センターとの会議は代表者や役割分担で出席をしているので、役割以外の人には出席の機会がない。利用者を中心としているので、スタッフは会議出席の優先する時間が難しいが、窓口を一本化した方がわかりやすい。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>個別支援でつながり合っている多職種とスタッフ間は、顔が見える関係性ができているが、自治体や包括支援センター・団体との会議には代表・ケアマネが参加を担っており今の役割分担を継続していく。担当者会議の各スタッフの参加強化を行っていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 29 日 (20 : 00～20 : 30)

7. 運営

メンバー 井本・勝連・譜久村・久貝・仲地
吉田・金城・波平・上原・井上・坂東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	7	2	3	4	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8	6	1	1	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7	6	2	1	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	11	3	0	2	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域の声が集まり、高齢者や地域の拠点として設立された事業所なので、地域と話し合いながら運営ができている。日々地域やスタッフ間で話し合い共有し、つながりあって協力し合っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
意見・苦情はほとんどなく、言うこともなく、聞くこともあまりない。地域・家族とは意見や情報交換が日常的ですぐにできていて改善できるので、事業所へ意見をする習慣がなく、雑談で処理されていることが課題。ミーティングやみんなの前できちんと話せるように「そういえば」という項目を設定し、気になることを意識して発言できるようにしていく。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域に密着しすぎていて、職員としての意見は遠慮があったり意見を言う習慣がなく、雑談で処理されていることが課題。ミーティングやみんなの前できちんと話せるように「そういえば」という項目を設定し、気になることを意識して発言できるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 29 日 (20 : 00～20 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 井本・勝連・譜久村・久貝・仲地
吉田・金城・波平・上原・井上・坂東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	5	5	2	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	4	6	4	16
③	地域連絡会に参加していますか	4	1	6	5	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	8	3	1	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
対象一人一人に向き合うこと、地域の皆と話し合うことで学び合っている。講師を招いて研修したり、外の研修やスキルアップのチャンスには時間が合えば何とか参加、研修の知らせは共有・目を通すようにしている。連絡会は役割のある代表が参加している。危ないことはみんなと相談して対応、ベッド回りなど事故のないようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
個別支援が優先で、地域の連絡会や研修に参加時間が取れない (島外で行われることがほとんど)。忙しい・時間がないことを理由に参加しないこともある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
研修の必要性の理解やスキルアップの捉え方が課題。 日々の地域で老い過ぎられる時間の共有・一人一人の対象と向き合うことが何よりの学びであり、地域の力をかりその地域ならではの質の向上を目指す。全国から専門職者の研修・見学や実習生が定期的に入ってくるので、そういう機会を活用して学び合いの継続と、外部からの目を入れ続け意見をj得る。	

--

--

9. 人権・プライバシー

メンバー	井本・勝連・譜久村・久貝・仲地 吉田・金城・波平・上原・井上・坂東
------	--------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	12	4	0	0	16
②	虐待は行われていない	12	4	0	0	16
③	プライバシーが守られている	9	4	3	0	16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	1	2	11	16
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	5	3	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束ゼロチーム発足させ・スタッフみんなで勉強し、毎月スローガンを作り虐待・拘束について意識し、見守り・見回り等を増やしチームで対応している。むやみに個人情報を話さない。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後継人制度は手続きが難しく、引き受ける人がいない、家族の協力が得られないことが多く制度で補えないことが多い。 危険予測と拘束・虐待との折り合いの難しさを皆で共有、個人情報を守りながらの地域での共有が難しい	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
拘束・虐待・権利擁護の知識、密着している地域での情報共有と個人情報管理が課題。 対象と向き合いチームで考え、対象や家族・地域のつながりと本人の最善を考えながら、包括支援センターや役所担当課と相談しながら暮らし丸ごとを支援し学び続けていく。	